

2017年7月14日

東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 特任講師または特任助教 公募

東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 河川・流域環境研究室では、下記の要領で特任教員を公募します。関係者への周知もあわせてお願い申し上げます。

記

1. 公募人数： 特任講師または特任助教 1名
2. 所属： 東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻
3. 勤務場所： 東京大学本郷キャンパス（東京都文京区本郷7丁目3-1）
4. 着任時期： 決定後できるだけ早い時期。
5. 任期： 雇用の更新は予算の状況、勤務成績の評価に基づいて単年度毎に行います。
最終任期は2020年9月30日です。

6. 職務内容：

以下のいずれか、あるいは複数の職務に従事します。いずれも一人で取組むのではなく、研究室の教員や研究員と共同で進めることになります。

- ・ 大規模水害のリスク評価手法の開発
 - ▶ 大規模水害発生時の人的・経済的被害や波及影響等のリスクの評価手法を開発するとともに、流域の詳細な地形データによる氾濫計算結果を基に、地球環境情報プラットフォーム（DIAS）上で被害推計を行い、大規模水害リスクの見える化を行う。
- ・ 途上国の水災害への対応能力の向上に関する研究開発
 - ▶ データの不足する途上国において衛星観測データや数値モデル、現地調査データなどを効果的に融合し、洪水被害の軽減に資するシステムをDIAS上に開発する。
- ・ 人材育成、教育プログラムの開発
 - ▶ 多種多様なデータを活用して、水循環および関連分野の課題発見および問題解決に貢献する基礎的な能力を養うサマープログラムを設計・実施。研究室の学生指導も行う。

7. 応募資格：

- ・ 学位（博士）を有する（着任までに取得可能を含む）。
- ・ 職務内容に関する研究開発の経験があることが望ましいが、必須ではなく、職務内容に関する研究に熱意を持っていること。
- ・ 数値シミュレーションや統計解析などある程度の計算スキルを有すること。

8. 勤務形態： 常勤（特定有期雇用教職員）、裁量労働制
9. 待遇： 東京大学の特定有期雇用職員の待遇に従う。各種社会保険が適用され、通勤手当を支給

10. 応募書類

- (1) 履歴書（写真添付、メールアドレス記入、学歴、職歴、学位、所属学会および団体、賞罰）
- (2) 上述の職務内容にどのように貢献するかに関する計画や提案、抱負
（A4版で2枚程度、様式自由）
- (3) これまでの研究の概要（A4版で2枚程度、様式自由）
- (4) 研究業績一覧（原著論文、総説・解説・著書、国際会議（招待講演と一般発表を分ける）
特許、受賞、外部資金獲得実績等に適宜分類。論文等は全著者名を記載）
- (5) 主要論文の抜刷または複写（5篇以内）
- (6) 推薦書1通、推薦者のメールアドレス

11. 選考方法： 選考委員会による書面審査。ただし、面接を行うことがあります。

12. 公募締め切り： 2017年9月12日（火）必着。ただし、書類が届いたものから審査を行い、この締切日より前に採用者を決定することがあります。

13. 書類送付先：

〒113-8656 東京都文京区本郷7丁目3-1

東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 池内幸司宛

※ 封筒に「特任教員公募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送してください。

14. 連絡先

東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 教授 池内幸司

(email) web-admin@hydra.t.u-tokyo.ac.jp (電話) 03-5841-6113

※ アットマークを半角文字に変えてください。

15. その他：

- ・ 採否の決定は個別に連絡することとし、応募書類は返却いたしません。
- ・ 応募書類は本採用選考の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切行いません。